

4/13 長年のご活躍を称えて

とうきょう川根の会 高嶋末男会長が来庁 長年の活動を振り返る



藺田町長と感謝状を手にほほ笑む高嶋会長

首都圏で川根本町のPR活動を行ってきた「とうきょう川根の会」が来庁し、令和3年度をもって解散したことを藺田町長に報告しました。

同会長の高嶋末男さんは「長年のご支援に心から感謝している。ふるさとの応援があったからこそ今まで活動を続けることができた」と笑顔で話しました。

とうきょう川根の会は、首都圏に住む旧本川根町の出身者の親睦とふるさととの交流のために組織され、昭和60年に設立されて以来、約30年にわたり川根本町の魅力を発信してきました。町はその長年の活動に感謝の意を表して、感謝状を贈呈しました。

茶産地自慢の逸品 県知事に贈呈

5/10

川根本町の今年の新茶を川勝平太県知事に贈呈しました

新茶の季節到来を盛り上げるために行われている新茶贈呈式が静岡県庁で開催され、本町を始めとする県内15産地の新茶が川勝平太知事に贈呈されました。

会場に集まった各産地の茶娘たちが「さわやかな香りを楽しんでください」や「まろやかでコクとうま味があります」などと香りや味を紹介しながら、自慢の新茶を県知事に手渡していました。

川勝知事は「お茶は静岡県が誇る最高品質の農芸品。美味しいお茶をたくさんの方に振る舞いたいと思う」と話しました。



勢ぞろいした県内産地の茶娘と川勝知事

4/16 凛々しく華麗に演芸活動の成果を披露

川根本町文化協会主催の演芸会が3年ぶりに開催



川根本町文化協会が主催した「コロナも吹き飛ばす愉快な演芸会」が町文化会館で開催され、大正琴深山教室やコーラスリベルテなど町内6団体が出演しました。

この日、会場に詰めかけた観客は町内外から合わせて約120名。和太鼓の勇壮な演奏や華麗な舞踊などに拍手と歓声を送っていました。

同協会事務局の^{おおしたとしろう}大下敏郎さんは「コロナ禍もあって解散してしまったグループも多い中、3年ぶりに開催できてうれしい。新しく入会してくれた団体もいて、これからもっと盛り上がるね」と笑顔で話しました。

エコティ日記

「町の自然資源を活かした地域観光事業」に取り組んでいる(一社)エコティかわね。今月はドライフラワー講師でもある栗原春子さんにお話を聞きました。

「大井川のほとりで杉玉づくり」から森を考える

10年ほど前、森林組合主催の杉玉づくりに参加しました。その杉玉に魅了され、エコティかわねのプログラムとして開催して以来、毎年続けています。材料となる杉の葉は、林業に携わっている方々に協力をお願いしています。その方々と一緒に1時間ほどかけて山に入ると、手をかけて育てた木々が見事なまでに美しく並んで立っていて、感動しました。その光景を見て改めて、山を守ることが川や私たちの暮らしを守ることに繋がっていると実感しました。

このプログラムを始める際、参加者に「私たちは、大井川の恩恵を受けて生活しています。この豊かな水があるのは山を守っている人たちがいるからです。感謝の気持ちを持って作りましょう」とお話しします。竹のボールに杉の葉を差して、丸くカットするという一日がかりの作業ですが、年々参加者が増えています。リピーターも多く、人気のプログラムになりました。町内外はもとより、県外から参加する人もいます。森の象徴としての杉玉づくりをさらに広めていきたいというのが私の思いです。



△プログラム終了後、出来上がった杉玉と記念撮影をする参加者の皆さん



△山から運んできた杉の葉を材料に作っていく



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎(58)7000 FAX (58) 7001
Eメール: ecotkawane@gmail.com

くりはら はるこ ● 栗原 春子さん (地名区)

農業を営み、地名で農家民宿・喫茶「サンゴカントリーともしび」を夫婦で経営。ドライフラワー講師としても活躍。小中学校に講師として出向いたり、エコティかわねでもプログラムを担当したりしている。



4/22 お空をいっぱい泳いでね！！

三ツ星保育園・桜保育園で「こいのぼりづくり」園児たちの力作が誕生



「ここに貼ろうよ！」楽しく一緒に飾り付け

町立保育園で、こどもの日を祝う会を前に「こいのぼりづくり」が行われました。

この日、三ツ星保育園の年長児たちは3つのグループに分かれ、こいのぼりの形に切った大きなビニールに飾り付け。「お花付いたらかわいいね!」「銀色織り紙貼りたい!」と色画用紙やカラーペンを使って協力しながら作っていました。

その後、園児たちは完成させたこいのぼりを手に園庭に飛び出すと「泳いでみたいでしょ!」とこいのぼりをなびかせながら元気に走り回っていました。